

# 平成26年度決算の概要

## 1 収支決算の概要

決算は本会・共同募金委員会を連結・総括している。

本会の主な財源（収入）は、共同募金収入と特定・指定寄付金収入である。これらを財源として県内の社会福祉事業・活動に助成し、また、共同募金会に係る人件費、事務費、事業費（運動経費）等の運営費も賄っている。

本部サービス区分について、運営費支出については、事務の効率化を図るなど経費の抑制に努めてきたところであり、人件費（△139千円）、事業費（△158千円）の減額となっている。また、積立資産取崩収入については、募金運動等を円滑に運営するための財源を確保するため、運営資金等積立資産取崩（5,000千円）を行った。

寄付金サービス区分について、共同募金収入については、減少傾向が続いており、特に地域歳末募金の減額が大きく（一般募金△576千円、地域歳末募金△3,579千円、NHK歳末募金△109千円）、実績に伴う助成金も減額となっている（一般配分金△723千円、地域歳末募金配分金△3,408千円、NHK歳末募金配分金△439千円）。

また、募金目標額に対する実績額・達成率については、一般募金△2,233千円・97.9%、地域歳末募金253千円・101.0%、NHK歳末募金△388千円・87.5%となり、総額では、△2,367千円・98.2%となっている。

一方、特定・指定寄付金については、指定寄付金の対象となっている借入金が全額繰り上げ償還となり、指定寄付を取りやめた寄付法人があったため、収入、支出とも減額（収入△141,991千円、支出△139,983千円）となっている。

災害等準備金サービス区分について、災害等準備金取崩し金助成事業（1,500千円）を行った。

災害たすけあい義援金サービス区分について、他県の災害義援金募集が8件あったことにより、災害義援金収入、災害義援金支出とも1,137千円となった。

各サービス区分ごとの収入支出の決算状況は、下表のとおりである。

### ○資金収支計算（総括）

サービス区分	決算額（資金収支）					
	収入(1)	支出(2)	前期末支払資金残高(3)	積立預金取崩収入(4)	積立預金積立支出(5)	当期末支払資金残高(6)=(1)+(3)+(4)-(2)-(5)
	円	円	円			円
本部	25,641,532	30,267,889	1,343,670	5,054,300	102,840	1,668,773
寄付金	197,129,685	197,127,769	23,536,032	0	0	23,537,948
災害等準備金	3,923,735	1,500,357	18,880,902	0	0	21,304,280
災害たすけあい義援金	1,137,322	1,137,322	0	0	0	0
合計	227,832,274	230,033,337	43,760,604	5,054,300	102,840	46,511,001

### ○事業活動収支（総括）

サービス区分	決算額（事業活動）						
	収益(1)	費用(2)	前期繰越活動収支差額(3)	当期末繰越活動収支差額(4)=(1)+(3)-(2)	その他の積立金取崩額(5)	その他の積立金積立額(6)	次期繰越活動収支差額(7)=(4)+(5)-(6)
	円	円	円	円	円	円	円
本部	205,282	30,583,130	3,364,921	△ 27,012,927	5,054,300	102,840	△ 22,061,467
寄付金	197,129,685	167,771,532	23,536,032	52,894,185	0	0	52,894,185
災害等準備金	4,303,735	5,420,357	2,070,902	954,280	0	0	954,280
災害たすけあい義援金	1,137,322	1,137,309	0	13	0	0	13
合計	202,776,024	204,912,328	28,971,855	26,835,551	5,054,300	102,840	31,787,011